

2023

野洲市教育研究所だより

No.18
2023.11.9

第14回まなび野洲検定 2023 1級合格者表彰式

10月23日(月)16:30から「第14回まなび野洲検定2023 1級合格者表彰式」をコミセンきたので行いました。

3級合格者は28名。2級合格者は38名。難関1級に合格した人数は、なんと16名でした。昨年度が1名だったことを考えると今年度は、事前学習をしっかりと行って本番に臨んだ子どもが多かったことが伺われます。西村教育長から一人一人に合格証書と副賞が手渡されました。



1級合格者(14名参加)

4年生からも5年生からも6年生からも、そして全6小学校から1級合格者が出たことは、野洲のことに興味を持っている子どもたちが学年・地域を問わず大勢いたことを示しています。また、今度こそ1級を取りたいと継続的に取組んだ子どもたちもいました。中には、夏休みに親子で問題について教育研究所へ尋ねに来た子どももいました。

保護者の皆さんや先生方に前向きな言葉をかけてもらい、子どもたちは「まなび野洲検定」に挑戦することができました。来年度も、自分たちが暮らしている野洲をもっと理解し、好きになる子どもが増えるよう、皆様の声掛けをお願いします。



まなび野洲チャレンジ! 2

今回はこの問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。答えは次ページの最下段に載せています。

野洲北中学校の西側に永原御殿の跡があります。この永原御殿は、江戸時代にどのように使われましたか?

- ①貴族が茶会を開く時の宿泊所として使われた
- ②徳川将軍が上洛する時の宿泊所として使われた
- ③各地の僧が修行する時の宿泊所として使われた
- ④朝鮮通信使の宿泊所として使われた



史跡永原御殿跡イメージスケッチ

永原御殿は令和2年3月に国の史跡指定を受けました。この8月には、児童や保護者対象の発掘調査体験教室も開かれ、礎石や瓦片が見つかりました。御殿跡を歴史公園にしようと整備が進められています。また、令和4年2月には、江部自治会有志の方々を中心とするメンバーで永原御殿跡をPRする紙芝居が作成されました。

野洲図書館とコラボ

児童作品「6年生がとらえた宮沢賢治の世界」の展示



子どもたちの宮沢賢治の世界カード

また、今回の学習では、野洲図書館の皆さんにご協力のもと、宮沢賢治の書籍を数多く学校で読むことができました。子どもたちは、「やまなし」で学習したことを生かし、賢治の描く美しい描写や独特の世界観、個性あふれる登場人物や考えさせられるメッセージ等を6年生の「今」の感性で捉えていきました。時が過ぎ、大人になって同じ賢治の作品を読み返したとき、「今」とは違った見方や考え方で捉えることができるのかもかもしれません。



作品ごとの子どもたちの世界カード

研究所の岡嶋研究員は、「他者から学び、考えを再構築する児童の姿を目指す授業のあり方～小グループの意見交流を通して考える国語科『読むこと』の授業づくり～」という研究主題で研究をしています。

北野小学校の6年生が、その研究にのっかって、宮沢賢治の人柄や考え方にも触れながら、「やまなし」を学習しました。授業以外でも、教室前の廊下の「宮沢賢治の作品コーナー」にある様々な作品を読んでいきました。そのような学習の中で、「賢治らしい表現」「美しい表現」「賢治が伝えたかったこと・作品に込めた思い」といった宮沢賢治の描く世界をそれぞれ捉えていくことができました。



野洲図書館の展示の様子

子どもたちの感じ取ったことを「宮沢賢治の世界カード」に書き込みました。そのカード等を野洲図書館に展示しています。この展示に合わせて「宮沢賢治と小さな石たち展」を図書館の皆さんが企画してくださいました。賢治の作品に登場する石の展示です。石好きの賢治は、色の表現に色石を引用したり、鉱物の特殊な性質を物語の中に活かしてみたりと、さまざまな石を活用しています。賢治の文章と石の実物とを合わせて見ることで、作品により親しみを持ってもらえればと考えて企画されたものです。

11月19日まで開催されています。北野小学校6年生の感性に触れるとともに、宮沢賢治の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。